

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	青森県	学校名	佐井村立佐井中学校		
人権課題	子ども	対象学年・ 取り扱った教科等	全校：学級活動	時数等	2時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が発した何気ない一言や行動で相手を不快にしているかもしれないということ を自覚し、どうしていけばよいのか考え行動できる態度を育成する。</li> <li>・日常の中で相手のことを考えた言動をし、悩みを打ち明けられるような環境を作っていく ことの大切さを知る。</li> </ul>				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・S O S の出し方教室として、発信の仕方だけでなく、発信された内容の受け取り方について 学んだ。（1時間）</li> <li>・各学年に分かれて、それぞれの世代の悩みに対してのS O S の出し方や、悩みに関する考え 方について学んだ。（1時間）</li> </ul>				
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スクールカウンセラーにS O S の出し方について講話をしていただいた。</li> <li>・各学年に分かれてのS O S の出し方教室では、悩みに対しての発信の仕方や解決の仕方につ いて話し合い活動を行った。</li> </ul>				
他教科との 関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科にて、基本的人権について学び、いじめも人権侵害であることを確認した。</li> <li>・道徳科にて、いじめを許さない学級づくりを考えた。</li> </ul>				
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識的側面：自分の発言や言動が相手を傷つけてしまうことがあるということを理解でき た。 R4 92.3 → R5 92.9</li> <li>・価値・態度的側面：相手の嫌がることを言わずに公平に接しようと思う。 R4 96.2 → R5 96.4</li> <li>・技能的側面：相手のことを考えた発言や行動をすることができた。 R4 76.9 → R5 85.7</li> </ul>				

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・指定都市名	青森県	学校名	佐井村立佐井中学校		
人権課題	女性	対象学年・取り扱った教科等	全校：保健体育	時数等	2時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦体験を通して、女性に対する人権課題の現状を正しく知ることができる。</li> <li>・男性も女性もそれぞれ尊重し合い、助け支え合いながら生活していこうとする態度を育成する。</li> </ul>				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・赤ちゃんが生まれるまでと妊婦の人権についての講話をしていただき、正しい知識を身につけた。</li> <li>・実際に妊婦体験を行い、妊婦さんが日常の生活の中で大変なところ、支えてもらいたいところについての意見を出し合った。（2時間）</li> </ul>				
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・妊婦体験を行うために福祉健康課から講師を招いて、赤ちゃんが生まれるまでと妊婦の人権についての講話を設定した。</li> <li>・妊婦体験のための器材が不足していたことから、近隣の自治体からも借り、効率的に体験ができるようにした。</li> </ul>				
他教科との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科にて基本的人権について学習し、差別は人権侵害であるということに根拠を持たせた。</li> </ul>				
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識的側面：妊婦の大変さについて理解できた。 R4 53.8 → R5 92.9</li> <li>・価値・態度的側面：妊婦さんが困っていたら手を差し伸べようと思う。 R4 80.8 → R5 96.4</li> <li>・技能的側面：男性も女性も助け合いながら生活することができる。 R4 84.6 → R5 85.7</li> </ul>				

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・指定都市名	青森県	学校名	佐井村立佐井中学校
人権課題	高齢者	対象学年・取り扱った教科等	全校：総合的な学習、保健体育
時数等	4 時間		
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者に対する人権課題の現状を知り、課題解決のためには、その問題を正しく知ることが大切であるということを理解する。</li> <li>・高齢者に対して、自ら積極的にかかわろうとする態度を育成する。</li> </ul>		
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・青森県立保健大学の大学講師から「高齢者の人権と健康について」を学習した。（2時間）</li> <li>・「ヘルスアップinさい」で高齢者との交流を行った。（2時間）</li> </ul>		
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学講師から、高齢者の介護は食事やトイレの世話だけでなく、高齢者の人権を尊重し、より健康的に生きるために必要なことを考えて接することが大切だという講話をいただいた。</li> <li>・村の福祉健康課と連携して、高齢者とモルックやノルディックウォークなどの共に行う活動に参加することで、高齢者との触れ合いを多く持つことが出来るようにした。</li> </ul>		
他教科との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科にて、基本的人権について学習し、差別は人権侵害であるという理解を促した。</li> <li>・道徳科にて、高齢者を支える社会の在り方について考えた。</li> </ul>		
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識的側面：高齢者がどんなことで困っているか知っていますか。 R4 88.5 → R5 89.3</li> <li>・価値・態度的側面：高齢者に手助けしたいと思う。 R4 96.2 → R5 96.4</li> <li>・技能的側面：高齢者と共に楽しく活動することができた。 R4 38.5 → R5 89.3</li> </ul>		

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	青森県	学校名	佐井村立佐井中学校
人権課題	外国人	対象学年・ 取り扱った教科等	全校：総合的な学習 時数等 7時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化等の多様性を認め、言語、宗教、生活習慣等の違いを正しく理解し、これらを尊重する態度を育成する。</li> <li>・偏見なく外国人に接し、困っている外国人の力になろうとする態度を養う。</li> </ul>		
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ニカラグア的女子野球チームと交流をした。（4時間）</li> <li>・ウクライナの避難民の方からの講話をいただいた。（2時間）</li> <li>・アメリカ出身のALTが帰国するのでお別れ会を行った。（1時間）</li> </ul>		
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女子野球チームとの交流では、佐井村の祭りについて紹介したり、佐井音頭を一緒に踊った。また、ニカラグアの貧しい暮らしについての話をしていただき、現状を理解した。</li> <li>・ウクライナの講話の前にロシアとの関係や双方の感情についての学習を行った。</li> <li>・東京で「外国人と人権」の講話を拝聴し、一般研修として教職員に共通理解を図った。</li> </ul>		
他教科との 関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科にて、各国の地理や歴史背景について理解した。</li> <li>・道徳科にて国際理解・国際親善をテーマとする教材を扱い、外国人に対する見方や考え方を振り返るとともに、今後の自分の態度を考えさせた。</li> </ul>		
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識的側面：外国人の貧しい暮らしについて理解できた。 R4 42.3 → R5 89.3</li> <li>・価値・態度的側面：困っている外国人に手を差し伸べようと思う。 R4 53.8 → R5 85.7</li> <li>・技能的側面：外国人と偏見なく接することができた。 R4 38.5 → R5 92.9</li> </ul>		

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・指定都市名	青森県	学校名	佐井村立佐井中学校		
人権課題	障害者	対象学年・取り扱った教科等	2・3年生：特別活動	時数等	3時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者に対する人権課題の現状を知り、課題解決のためには、その問題を正しく知ることが大切であるということを理解する。</li> <li>・障害者との触れ合いを通して、障害者に優しく接することができる。</li> </ul>				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者の現状を知り、解決するために話し合い活動を行った。（1時間）</li> <li>・居住地校交流として障害者でも取り組みやすい内容を考え、思いやりをもって接することができるようにした。（2時間）</li> </ul>				
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2学年は青森県立青森第二養護学校と、3学年は青森県立むつ養護学校と、それぞれ関係する障がい者の状況把握を行うために連絡を密にした。</li> </ul>				
他教科との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科にて、基本的人権について学習し、差別は人権侵害であるという理解をした。</li> <li>・道徳科にて、障害者に対してどのように接していけばいいのかを考えた。</li> </ul>				
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識的側面：障害者のことについて知ることができた。 R4 80.7 → R5 85.7</li> <li>・価値・態度的側面：障害者に対して差別することなく接しようと思う。 R4 84.6 → R5 89.3</li> <li>・技能的側面：障害者と公平に接することができた。 R4 84.6 → R5 96.4</li> </ul>				

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・指定都市名	青森県		学校名	佐井村立佐井中学校	
人権課題	インターネットによる人権侵害	対象学年・取り扱った教科等	全校：特別活動	時数等	3時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インターネット上の人権課題の現状を知り、課題解決のためには、その問題を正しく知ることが大切であるということを理解する。</li> <li>・「差別を許さない雰囲気づくり」を行うために、相手がどう思うかを考えて行動する態度を育成する。</li> </ul>				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全学年を対象とした情報モラル教室では、大学の講師を招いてSNSの正しい使い方について学ぶ機会を設けた。（2時間）</li> <li>・全学年を対象とした人権教室では、人権擁護委員を招いてインターネットやSNSによる人権侵害について学ぶ機会を設けた。（1時間）</li> </ul>				
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報モラル教室では、文字だけでは伝わりにくい感情があること、相手がどう受け取るかはわからないことなどを考えさせた。また保護者も参加し、地域の人権意識を高めた。</li> <li>・人権教室では、何気ない行動が思いがけない事件に発展してしまうことについて考えさせた。</li> </ul>				
他教科との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科にて、基本的人権について学習し、差別は人権侵害であるという理解をした。</li> <li>・道徳科にて、いじめを許さない学級づくりを考えた。</li> </ul>				
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識的側面：ネットによる人権侵害について理解できた。 R4 88.5 → R5 92.9</li> <li>・価値・態度的側面：ネットへの書き込みによって相手がどう思うかを考えるようになった。 R4 92.3 → R5 96.4</li> <li>・技能的側面：ネット等を使うにあたって相手のことを考えて利用することができた。 R4 84.6 → R5 89.3</li> </ul>				

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・指定都市名	青森県		学校名	佐井村立佐井中学校	
人権課題	性的指向、性自認	対象学年・取り扱った教科等	1、3年：保健体育	時数等	1時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性的指向、性自認に関する正しい知識を理解する。</li> <li>・身体の性と心の性が一致していない人が、偏見や差別により、不適切な取扱いを受けていること等への人権問題についての理解を深め、解消していく態度を育てる。</li> </ul>				
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年保健体育では、男女の違いやホルモンの発達の仕方などに関連付けて、性的指向や性自認について、理解させた。（1時間）</li> <li>・3年保健体育では、感染症やエイズの予防と関連して、同性愛に対しての偏見や差別をしてはいけないことを気づかせた。（1時間）</li> </ul>				
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「多様性を認め合うことができない、できていない」自分がいることを確認し、どうすればみんなが幸せになれるのかを常に考えた。</li> <li>・「多様性を認め合うことができる社会になるために」を重点において進めた。</li> </ul>				
他教科との関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会科にて、基本的人権について学習し、差別は人権侵害であることについて学習した。</li> <li>・道徳科にて、いじめを許さない学級づくりを考えた。</li> </ul>				
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知識的側面：いろいろな性的指向があることを理解できた。 R4 69.2 → R5 71.4</li> <li>・価値・態度的側面：いろいろな性的指向に対して、偏見の目で見ないようにしようと思う。 R4 92.3 → R5 92.9</li> <li>・技能的側面：いろいろな性的指向があることに対して認めることができた。 R4 88.5 → R5 89.3</li> </ul>				

# 令和5年度 人権教育研究推進事業 <人権教育研究指定校事業>

都道府県・ 指定都市名	青森県	学校名	佐井村立佐井中学校
人権課題	S D G s	対象学年・ 取り扱った教科等	全校：総合的な学習 時数等 15～ 20時間
目標・人権教育のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貧困や不平等・格差、人権などの様々な問題を解決することを目指す S D G s について学習することで、身近なことからできる取り組みはないかを探り、実行に移そうとする態度を育成する。</li> </ul>		
実施した内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 17の目標から自分の調べたい、学習したい内容を決め、資料をまとめ発表した。</li> <li>・ 3年生は東京への修学旅行、2年生はむつ市での職場体験、1年生は下北ジオパークの探索と絡め、S D G s が社会のこういった場面に位置付けられているのか、私たちにできることはないかを考えさせた。（修学旅行等の実際に出向いた時間は除いて15～20時間）</li> </ul>		
工夫した点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年度に行った「U15みらい創造会議 in 佐井中」で発表していただいた村の総合戦略課からの資料を参考に、学習したい内容を決めたり、調べたりした。</li> <li>・ 自分たちでまとめた資料を、参観日で発表して保護者に披露した。</li> </ul>		
他教科との 関連	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会科にて、各国の暮らしや文化などについて学習した。</li> <li>・ 道徳科にて、国際理解や地域の支えに対するテーマを扱い、人権に対する見方や考え方を振り返るとともに、今後の自分の態度を考えさせた。</li> </ul>		
事業成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知識的側面：地域の方々の支えがあって、いろいろな活動ができていることを理解できた。 R4 73.1 → R5 78.6</li> <li>・ 価値・態度的側面：私たちのことを支えてくれる地域の方々に感謝したい。 R4 80.8 → R5 89.3</li> <li>・ 技能的側面：地域の方々と協力してボランティア活動に参加することができた。 R4 25.0 → R5 53.8</li> </ul>		